

Ⅶ 外国学校出身者のための選考

◎外国学校出身者のための法学部入学者の選考

経済・文化等各般にわたる国際的活動の拡大に伴い、海外に在留する日本人で現地の正規の学校や国際学校で教育を受けている者の数は飛躍的に増大しており、諸外国での教育や国際バカロレアのカリキュラムによる教育は、わが国の教育とは異なっているにもかかわらず、すぐれた成果を挙げています。

このような状況の下で、諸外国で多様な文化に接触し、外国語も修得しつつ、基礎的学力を身につけた者に入学の機会を与えることは、学生の多様性を確保し、一般学生に対し国際的視野を開く契機を提供することになります。そして、そのことを通じて、グローバルな視点で法と政治の問題を捉え、国際的に活躍しうる有為の人材を養成することが可能となると考えられます。

そこで、国際化時代における大学としてのあり方を考え、外国学校出身者に対して、国籍の制限なく、一般の入学者選考方法とは別の方法で選考を行います。

| 実施学部 | 法 学 部 |
|-------|--|
| 募集人員 | 10人以内 |
| 出願資格 | <p>次の1. 2. 3. 4. 5. 6. のいずれかに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 外国において、学校教育における12年の課程を平成29年4月1日から平成31年3月31日までに修了した者、又は修了見込みの者。 上記の12年の課程には、日本における通常の課程による学校教育の期間も含まれるが、外国において最終学年を含めて原則として2年以上継続して学校教育を受けていることを必要とする。外国に設置されたものであっても日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その在学期間を外国において学校教育を受けた期間とはみなさない。 〔注〕1. 大学入学資格として少なくとも12年の教育課程を基本とする国において、「飛び級」等により、通算教育年数12年に満たないで修了した者及び修了見込みの者を含む。 2. 「外国において、学校教育における12年の課程」とは、当該外国において制度上正規の学校教育に位置づけられたものであることを要する。 外国において、文部科学大臣が指定する国際的な評価団体（WASC, ACSI, CIS）から教育活動に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を平成29年4月1日から平成31年3月31日までに修了した者、又は修了見込みの者で、平成31年3月31日までに18歳に達するもの。 上記の12年の課程には、日本における通常の課程による学校教育の期間も含まれるが、外国において最終学年を含めて原則として2年以上継続して学校教育を受けていることを必要とする。外国に設置されたものであっても日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その在学期間を外国において学校教育を受けた期間とはみなさない。 外国において、平成29年4月1日から平成31年3月31日までに上記「1」「2」以外の学校を卒業した者、又は卒業見込みの者であって、本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成31年3月31日までに18歳に達するもの。 外国において最終学年を含めて原則として2年以上継続して学校教育を受けていることを必要とする。外国に設置されたものであっても日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その在学期間を外国において学校教育を受けた期間とはみなさない。 平成31年3月31日までに18歳に達する者で、外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格を平成29年4月1日から平成31年3月31日までに授与された者、又は授与見込みの者。 平成31年3月31日までに18歳に達する者で、外国において、ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を平成29年4月1日から平成31年3月31日までに授与された者、又は授与見込みの者。 平成31年3月31日までに18歳に達する者で、外国において、フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を平成29年4月1日から平成31年3月31日までに授与された者、又は授与見込みの者。 <p>※ 出願資格について不明な点がある場合は、平成30年10月上旬頃までに法学部教務掛に照会すること。インターナショナルスクールやアメリカンスクール等の出身者について、出願資格「3」に該当する場合、出願資格審査を受けなければならないので、早めに照会すること。</p> |
| 選考方法等 | <p>以下の3つの成績を総合評価して、基礎学力と日本語の熟達度を判定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 京都大学個別学力検査（前期日程）国語（理系）の成績 ※主として現代文を扱う問題に限って解答を求める。「国語（理系）」について、当日、一部の問題について解答しなくてよいものを指定することがある。 TOEFL-iBTの成績（TOEFL-ITPとTOEFL-PBTは不可） 面接（日本語で実施し、出願書類も考慮する）の成績 |
| 出願期間 | 平成31年1月8日（火）～平成31年1月15日（火）必着 |
| 選考期日 | 平成31年2月25日（月）・26日（火） |
| 合格発表日 | 平成31年3月10日（日） |

| | |
|-------|---|
| そ の 他 | <p>学生募集要項等について</p> <p>この選者に関する募集要項は、法学部教務掛で配布します。郵送を希望する者は、受信者の住所・氏名・郵便番号を明記した返信用封筒（角形2号 332 mm×240 mm）を同封し、受信者が日本国内に居住する場合には205円切手を返信用封筒に貼付し、受信者が外国に居住する場合には航空便書状 110 グラム料金相当の国際返信切手券（日本国内では、現地での購入価格に関係なく、1枚につき130円分の切手と交換される。）を同封して、「外国学校出身者出願書類請求」と朱書して下記へ申し込んでください。</p> <p>なお、郵便料金については日本郵政ホームページ（http://www.japanpost.jp）を利用するなどして、各自で確認してください。</p> <p>京都大学法学部教務掛 〒606-8501 京都市左京区吉田本町 電話：075-753-3107 メール：gaikoku03*mail2.adm.kyoto-u.ac.jp（*を@に変えてください）</p> |
|-------|---|

◎外国学校出身者のための経済学部入学者の選考

海外で経済・文化等の活動にたずさわる邦人の数が増すとともに、その子女で諸外国において正規の学校ないし国際バカロレア制度による学校で教育を受ける者の数も飛躍的に多くなっていますが、こうした学校における教育は、わが国の制度による教育とは異なっていますが、十分に評価されるべきものです。

諸外国で学校教育を受け、日本と異なる文化に接しながら、しかも十分な基礎的学力を身につけた者に入学の機会を与えることは、国際化時代に即応した大学の役割をはたす上で必要でもあり、有用でもあります。

このため、外国学校出身者に対し、一般の入学者選抜方法とは別の方法で選考を行います。

| 実施学部 | 経済学部 |
|-------|---|
| 募集人員 | 10人以内 |
| 出願資格 | <p>日本国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者であって、外国において2年以上継続して外国の学校教育を受けている者のうち、平成29年4月1日から平成31年3月31日までに次の1～6のいずれかに該当するもの。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 外国の教育制度に基づく教育機関において、学校教育における12年の課程（日本における通常の課程による教育期間を含む）を修了した者及び修了見込みの者で、最終学年を含め2年以上継続して学校教育を受けたもの （注）大学入学資格として少なくとも12年の教育課程を基本とする国において、「飛び級」等により、通算12年に満たないで修了した者及び修了見込みの者を含む。 2. 文部科学大臣が指定する国際的な評価団体（WASC, ACSI, CIS）から教育活動に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程（日本における通常の課程による教育期間を含む）を修了した者及び修了見込みの者で、18歳に達するもの 3. 外国の教育制度に基づく教育機関において、学校教育における12年の課程（日本における通常の課程による教育期間を含む）に基づく高等学校相当機関の2年を含む3年間以上継続して学校教育を受けた後、中途退学し、引き続き日本の高等学校（中等教育学校の後期課程を含む）の第3学年に編入学を認められた者で、卒業したもの及び卒業見込みのもの 4. 外国において、学校教育における12年の課程修了相当の学力認定試験に合格した者で、18歳に達するもの 5. スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局の授与する国際バカロレア資格を取得した者で、18歳に達するもの 6. ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者で、18歳に達するもの 7. フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者で、18歳に達するもの <p>※出願資格「2」に該当しないインターナショナルスクールやアメリカンスクール等の出身者については、出願資格の確認に時間がかかるため、できるだけ早い時期に、出願資格について経済学部教務掛へ照会すること。</p> |
| 選抜方法等 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 第1次選考・・・出願書類を資料として用い、第1次選考を行う。 2. 第2次選考・・・第1次選考合格者に対し、小論文（日本語）、面接を課し、基礎的学力と日本語の熟達度を判定する。 |
| 出願期間 | 平成31年1月4日（金）から1月10日（木） |
| 選抜期日 | 平成31年2月25日（月）・2月26日（火） |
| 合格発表日 | 平成31年3月8日（金） |

| | |
|------------|---|
| <p>その他</p> | <p>1. 併願について 本学部では、本学他学部における外国学校出身者選考試験との併願を認めないので、注意してください。</p> <p>2. 学生募集要項等について この選考に関する募集要項は、経済学部教務掛で配付します。郵送を希望する者は、受信者の住所・氏名・郵便番号を明記した返信用封筒（角形 2 号 332mm×240mm）を同封し、受信者が日本国内に居住する場合には 205 円分の切手を返信用封筒に貼付してください。受信者が外国に居住する場合には国々の郵便事情により返信が遅れることが考えられます。そのため国際スピード便（EMS）を利用しますので、国際スピード便のホームページ [http://www.ems-post.jp/] の EMS 料金表を参照し、地域ごとによる重量 300 グラムの料金分の国際返信切手券を返信用として同封のうえ、「外国学校出身者出願書類請求」と朱書して下記へ申し込んでください。</p> <p>京都大学経済学部教務掛 〒606-8501 京都市左京区吉田本町 電話：075-753-3493 メール：kyoumu*econ.kyoto-u.ac.jp（*を@に変えてください）</p> |
|------------|---|

VIII 工学部地球工学科国際コースについて

◎外国人留学生を対象とした入学者の選考

工学部地球工学科国際コースでは、拡大する都市と周辺地域の地球環境・エネルギー問題に配慮して社会基盤を整備、マネジメントするために将来国際的に活躍できる人材の育成を行います。このコースでは、多様な国籍の学生が共に学べるように、卒業までの全ての講義が英語で行われます。

外国人留学生を対象に一般の入学者選抜方法とは別の渡日を必要としない方法で選考を行います。

| 実施学部・学科 | 工学部地球工学科 |
|---------|--|
| 募集人員 | 30人以内 |
| 出願資格 | 日本の国籍（日本国籍との二重国籍を含む）を有しない者で、以下のうち少なくとも1つに該当する者。 a) 外国において、学校教育における12年の課程を平成31年3月31日までに修了する者。 b) 日本において文部科学省に認められた、または Western Association of Schools and Colleges (WASC), Association of Christian Schools International (ACSI), Council of International Schools (CIS) に認定された外国の教育課程にもとづいた教育機関を平成31年3月31日までに修了し、平成31年3月31日までに満18歳に達する者。 c) 外国において中等教育機関で国際バカロレア、ドイツのアビトゥア、またはバカロレアを取得し、平成31年3月31日までに満18歳に達する者。 d) 上記a) に準ずる者（平成30年6月29日（金）から平成30年7月13日（金）の出願事前資格審査期間に所定の書類を提出し、京都大学によって出願が認められた者） |
| 選抜方法等 | 出願書類による第1次選抜と、小論文及び口頭試問による第2次選抜により選考を行う。 |
| 出願期間 | 平成30年8月20日（月）から平成30年9月14日（金） |
| 選抜期間 | 第1次選抜：平成30年10月上旬 第2次選抜：平成30年10月下旬 |
| 合格者発表日 | 平成30年11月9日（金） |
| その他 | このコースの詳細及び募集要項はホームページに掲載しています。 http://www.s-ge.t.kyoto-u.ac.jp/int/ja/ |

*一般入試で受験された方も合格後、本コースを選択することが可能です。

| | |
|------|---|
| 応募資格 | 一般入試を受験した工学部地球工学科合格者（国籍不問） |
| 募集人員 | 10人以内 |
| 決定方法 | 平成31年3月中旬に開催する説明会后、面接を受けた者の中から決定します。 |
| その他 | 本コースに興味のある方は、事前に下記のホームページで説明会の日程を確認してください。 http://www.s-ge.t.kyoto-u.ac.jp/int/ja/ 問い合わせ先：icp_ug*t.kyoto-u.ac.jp（*を@に変えてください） |

IX 特色入試について

各学部の募集人員及び選考方法は下表のとおりです。

なお、詳細については別途公表している「特色入試学生募集要項」をご覧ください。

| 学部・学科・コース名 | | 募集人員 | 選考方法 | 試験実施方式 | 提出書類 | |
|------------|-----------|---------------------------|--------------------------------------|--------------------------|--|--------------------|
| 総合人間学部 | | 5名 | 書類審査、能力測定考査（文系総合問題、理系総合問題）、センター試験の成績 | 学力型AO | 調査書、学業活動報告書、学びの設計書 | |
| 文学部 | | 10名 | 書類審査、論文試験、「学びの設計書」に関する論述試験、センター試験の成績 | 学力型AO | 調査書、学業活動報告書、学びの設計書 | |
| 教育学部 | | 6名 | 書類審査、課題及び口頭試問によるパフォーマンス評価、センター試験の成績 | 学力型AO | 調査書、学びの報告書、学びの設計書 | |
| 法学部 | | 20名 | 書類審査、小論文試験、センター試験の成績 | 後期日程 | 調査書 | |
| 経済学部 | | 25名 | 書類審査、論文試験、センター試験の成績 | 学力型AO | 調査書、学業活動報告書、学びの設計書 | |
| 理学部 | | 5名 | 書類審査、数学に関する能力測定考査、口頭試問、センター試験の成績 | 学力型AO | 調査書、学業活動報告書、学びの報告書 | |
| 医学部 | 医学科 | 5名 | 書類審査、小論文試験、面接試験 | 推薦 | 調査書、推薦書、学びの設計書、TOEFL-IBTのスコアレポート(原本)またはIELTSの成績証明書(原本)、特色事項に関する資料 | |
| | 人間健康科学科 | 先端看護科学コース | 20名 | 書類審査、論文試験、面接試験、センター試験の成績 | 学力型AO | 調査書、学業活動報告書、学びの設計書 |
| | | 先端リハビリテーション科学コース(理学療法学講座) | 5名 | | | |
| | | 先端リハビリテーション科学コース(作業療法学講座) | 5名 | | | |
| 薬学部 | 薬科学科 | 3名 | 書類審査、論文試験、面接試験、センター試験の成績 | 学力型AO | 調査書、学業活動報告書、学びの設計書、TOEFL-IBT、IELTSの受験者成績書の原本、または実用英語検定(英検)の合格証明書の原本のうち、少なくとも一つ。 | |
| | 薬学科 | 3名 | 書類審査、論文試験、面接試験、センター試験の成績 | 学力型AO | 調査書、学業活動報告書、学びの設計書、TOEFL-IBT、IELTSの受験者成績書の原本、または実用英語検定(英検)の合格証明書の原本のうち、少なくとも一つ。 | |
| 工学部 | 地球工学科 | 3名 | 書類審査、センター試験の成績 | 推薦 | 調査書、推薦書、学びの設計書 | |
| | 建築学科 | 2名 | 書類審査、センター試験の成績 | | 調査書、推薦書、学びの設計書 | |
| | 物理工学科 | 5名 | 書類審査、センター試験の成績 | | 調査書、推薦書、学びの設計書 | |
| | 電気電子工学科 | 7名 | 書類審査、センター試験の成績 | | 調査書、推薦書、学びの設計書、顕著な活動実績の概要 | |
| | 情報学科 | 3名 | 書類審査、口頭試問、センター試験の成績 | | 調査書、推薦書、学びの設計書、顕著な活動実績の概要 | |
| | 工業化学科 | 7名 | 書類審査、センター試験の成績 | | 調査書、推薦書、学びの設計書、顕著な活動実績の概要 | |
| 農学部 | 資源生物科学科 | 3名 | 書類審査、面接試験、センター試験の成績 | 学力型AO | 調査書、学業活動報告書、学びの設計書、TOEFL-IBT、TOEICの受験者成績書の原本、または実用英語検定(英検)の合格証明書の原本のうち少なくとも一つ。 | |
| | 応用生命科学科 | 3名 | 書類審査、小論文試験、面接試験、センター試験の成績 | | 調査書、学業活動報告書、学びの設計書 | |
| | 地環境工学科 | 3名 | 書類審査、小論文試験、面接試験、センター試験の成績 | | 調査書、学業活動報告書、学びの設計書 | |
| | 食料・環境経済学科 | 3名 | 書類審査、小論文試験、センター試験の成績 | | 調査書、学業活動報告書、学びの設計書 | |
| | 森林科学科 | 3名 | 書類審査、小論文試験、面接試験、センター試験の成績 | | 調査書、学業活動報告書、学びの設計書 | |
| | 食品生物科学科 | 3名 | 書類審査、口頭試問、センター試験の成績 | | 調査書、学業活動報告書、学びの設計書、TOEFL-IBT、IELTS、TOEICの受験者成績書の原本、または実用英語検定(英検)の合格証明書の原本のうち少なくとも一つ。 | |

注) 法学部を除き、選考の結果によっては合格者数が募集人員に満たない場合がありますが、その欠員分は一般入試(前期日程試験)の募集人員に加えます。

X 障害等のある受験者に対する合理的配慮について

本学では、障害等のある受験希望者からの入学試験における合理的配慮の提供に関する相談を常時受け付けています。下の様式を用いて、志望する学部の教務担当へ連絡してください。

相談の内容によっては対応に時間を要することがありますので、原則として12月末までに連絡してください。また、不慮の事故等で1月以降に相談が必要となった場合も、できるだけ早くに志望する学部の教務担当へ連絡してください。

| | |
|--|----------|
| (様式) A4 判縦 | 平成 年 月 日 |
| 京都大学〇〇学部長 殿 | |
| 氏名(ふりがな)・性別・生年月日 連絡先(住所・電話番号・メールアドレス等) 出身学校名・卒業/卒業見込み年月(高卒認定の場合、 認定試験合格/合格見込み年月) | |
| 京都大学〇〇学部に入学を志願したいので、下記のとおり事前に相談を希望します。 | |
| 記 | |
| 1. 志望する学部・学科, 受験科目 2. 障害等の種類, 程度 3. 受験上希望する配慮事項 4. 添付書類 ・医師の診断書 ・大学入試センター試験受験上の配慮事項決定通知書(写)(通知を受けている者) ・その他, 相談する際に必要と思われる参考資料 例) 障害者手帳(写), 検査結果(写), これまでの教育機関における配慮事項, 日常生活の状況 など | |

※本学では、受験上の配慮とともに、修学上の配慮に関する相談も受け付けています。修学上の配慮について、受験上の配慮とあわせて相談する場合は、希望する配慮事項を別紙(A4判縦、様式自由)に記載して、上記様式に添付してください。修学上の配慮に関する相談は、合格発表後あるいは入学後でも構いませんが、対応に時間を要することがありますので、できるだけ早くに学部の教務担当に連絡してください。

※個人情報については、[独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律]及び[京都大学における個人情報の保護に関する規程]に基づいて取り扱います。